

平成26年度青森県公社等経営評価書

(平成25年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)			
1	(公財)21あおり産業総合支援センター						
所管課名	商工労働部地域産業課						
決算状況 (単位:千円、%)							
出資	資本金	県出資額	県出資比率				
	549,756	390,000	70.9				
決算	前期一般正味財産増減額	当期一般正味財産増減額	一般正味財産期末残高				
	▲ 100,169	▲ 169,511	▲ 587,887				
資産	資産	負債	正味財産				
	14,255,086	12,799,421	1,455,665				
財務分析指標				上記についての所管課の意見・評価			
正味財産比率	経常比率	総資産当期経常増減率	県財政関与率	補助金収入率	【目的適合性】 <input checked="" type="radio"/>		
10.21	90.12	▲ 1.26	23.97	24.12	当該財団は、本県唯一の認定支援機関であるため、県内支援機関によるプラットフォームでは中核的な役割を担っている。このため、創業から販路開拓まで様々な企業課題に対してワンストップで一貫した支援を行う体制が構築されているとともに、国や県の施策の実施機関として重要な役割を担っている。		
受託等収入率	管理費比率	人件費比率	流動比率	借入金比率			
29.11	3.69	17.52	203.78	86.87	【計画性】 <input checked="" type="radio"/>		
経営評価結果				【組織運営の健全性】 <input checked="" type="radio"/>			
評価区分	C:改善措置が必要			財団では、中期経営計画の策定(見直し)にあたり毎年県と協議する等、これまでも連携しながら取り組んでいる。引き続きPDCAサイクルを踏まえた事業の効率的・効果的な運営のために連携していきたい。			
<財務状況> 財務の状況については、平成22年度以降、4期連続して経常増減額が赤字となっている。平成26年3月31日現在における一般正味財産の累積赤字は約5億8千万円であり、事業別ではオーダーメイド型貸工場活用促進事業が約14億1千万円の累積赤字となっている。				【経営の効率性】 <input type="radio"/>			
<経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、収支の状況等から財務状況の健全性が低くなっているが、他の項目については、おおむね妥当なもの認められる。				当該財団では、人件費等の固定費の圧縮に継続して取り組んでいるが、オーダーメイド貸工場活用促進事業のリース料収入の減少等により黒字化するまでには至っていない。			
<改善事項等> 当法人は、中小企業者等への総合的支援を行う実施機関として重要な役割を担っており、将来にわたって、本県産業の活性化と活力のある地域づくりに寄与するという目的を果たすことができるよう、県派遣職員の引き揚げとプロパー職員の育成及び財源確保の方法を県と協議・検討し、効果的・効率的な運営と自立化に向けて取り組むことを求めたい。				【財務状況の健全性】 <input type="radio"/>			
また、当法人が実施するオーダーメイド型貸工場活用促進事業については、法人と県が連携して、経営状況等点検会議を開催して状況の把握に努め、事業環境の変化にも適切に対応するとともに、県民への丁寧な説明と適時・適切な情報提供を行うよう求めたい。				当該財団では、県内唯一の認定支援機関として国や県の施策の実施機関としての役割を担っていることから、基金や貸付事業をはじめとして様々な事業を実施している。このため、これらの事業を実施するため、事業スキームとしての借入金や運営費が予算措置されているものである。			